鹿児島県立徳之島高校シラバス	
農業と環境	［農業］

履修学科	総合学科
履修学年	第２学年
履修単位	４単位
教科書	農業と環境（実教出版）
副教材	

科目目標

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，農業の各分野で活用する基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

(2)　農業と環境に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3)　農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点 ①	評価の観点 ②	評価の観点 ③
1学期	**4**	第１章　農業と環境を学ぶ ・学校農業クラブ活動 ・ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ学習	・農業クラブの目標や活動内容について理解し，各種活動へ参加する。 ・ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ学習のねらいや進め方を理解する。 ・トマトなど果菜類の生育観察や記録を通して，植物の生理・生態や環境要素等のまとめや考察を行い，科学的に理解する。	○	○	○
	5	第４章　栽培と飼育のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ ・果実を利用する植物の栽培と利用（トマト・ナスなど）				
	中間考査			○	○	
	6	第２章　私たちの暮らしと農業・農村 ・人間と植物・動物とのかかわり ・農業と食料供給 ・農業・農村の役割	・日本の農業と食糧供給の現状を理解する。 ・農業の持つ役割について理解する。	○	○	○
		SDGs 番号２：飢餓をゼロに　番号 15：陸の豊かさも守ろう 人間と動植物や，農業と自然のかかわりを学習することで，農業が自然環境の保護にも繋がっていることを理解する。また，日本の農業の現状を学ぶことで，食料供給において農業が需要であることを理解する。				
	期末考査					
	7	第３章　栽培と飼育の基礎 ・作物と家畜の特性	・作物（果菜類）と家畜（ウシ）の特性について基本的内容を理解する。			
2学期	**9**	第２章　私たちの暮らしと農業・農村 ・これからの農業・農村	・農業を取りまく課題を理解し，持続的な農業の維持・発展につなげるための理解を深める。 ・秋・冬野菜の栽培を行うために必要な知識・技術を身につけるとともに，科学的探求心を持って野菜作りに取り組み，栽培結果を評価・改善できるようにする。 ・ハクサイ・キャベツ等の栽培を通して，果菜類との相異を学習する。	○	○	○
	10	第４章　栽培と飼育のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ ・葉や茎，根を利用する植物の栽培と利用（ハクサイ・キャベツなど）				
	中間考査			○	○	
	11	第３章　栽培と飼育の基礎 ・作物を取りまく環境とその管理	・作物の健全な生育を促すための土壌環境および病害虫防除，肥料等について基礎的知識を習得する。	○	○	○
	期末考査			○	○	
	12	第５章　環境調査と環境保全 ・土壌の調査	・地域の土壌状態を調べ，その性質を理解する。	○	○	○
3学期	**1**	第４章　栽培と飼育のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ ・草花（苗）類の栽培 ・果菜苗の栽培	・野菜類の苗物生産を通し，気象要因と生育の関係，接木等の技術を習得する。 ・草花（苗）類の栽培を通し，育苗に関わる用土作りについても学ぶ。	○	○	○
	2					
	学年末考査			○	○	
	3	プロジェクト活動のまとめ	・１年間のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ活動を整理・発表し，次年度の活動計画に生かす。	○	○	○

評価の観点　①知識・技能　②思考・判断・表現　③主体的に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	**思考・判断・表現**	**主体的に学習に取り組む態度**
農業の意義や役割を理解し，農業と環境に関する基礎的・基本的な技術を身に付け，農業に関する諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に利用したか。また，作物を丁寧に扱い，安全に留意して道具等を使用できる。	農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を基に，農業に携わる者として適切にものごとを判断し，感じたことを表現する能力を身に付けている。	農業に関する様々な課題について関心をもち，農業における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組むとともに，実践的な態度を身に付けている。

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
【授業を受ける際の注意事項】 以下の項目を守り，しっかりとした態度で授業を受けましょう。 ・忘れ物のないよう事前に準備する。（教科書，ノート，ファイル，筆記用具） ・始業時刻は守る。 ・授業の中で内容を理解するよう努める。 ・実験・実習においては，器械や器具の取扱に十分気を付け，使用後の整理整頓を必ず行う。また，授業前の注意事項はしっかりと聞いて，よく理解した上で行動する。不明な点があれば必ず質問すること。曖昧なままにしない。 ・提出物は期日厳守。 **【評価の方法】** ・定期考査の成績や単元ごとの確認テストだけでなく，教科書の音読や授業時の発表等も評価の対象とします。積極的に授業へ参加しましょう。 ・授業中の態度や出欠状況，提出物や課題の提出状況も重要な判断材料です。日々の取組を大事にしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
課題研究	［農業］

履修学科	総合学科
履修学年	第２学年
履修単位	２単位
教科書	農業と環境（実教出版）
副教材	丙種危険物取扱者受検教科書 日本農業技術検定過去問題集

科目目標

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して，社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。

(2)　農業に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。

(3)　課題を解決する力の向上を目指して自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点 ①	評価の観点 ②	評価の観点 ③
1学期	4 5	１　危険物取扱者（丙種） (1)第１編（燃焼と消火に関する基礎知識）の復習 (2)第２編　危険物の性質並びにその火災予防および消火の方法 ・丙種取扱者が扱える危険物の共通の性質 ・主な危険物の性質と危険性 (3)第３編　危険物に関する法令 ・消防法に関する問題 (4)模擬試験問題の実施	・前年度３学期に学んだ内容について，テスト形式で復習を行い，理解を深める。 ・丙種取扱者が扱える危険物の性質や危険性を十分に理解した上で，各々に適合した消火方法を判断できるようになる。 ・消防法における用語の意味や定義について理解する。特に類似する語句については繰り返し学習する。 ・小単元ごとにテストを行い，理解を深める。	○	○	○
1学期 2学期	6 7 9 10 11	２　日本農業技術検定（３級） (1)栽培に関する基礎的内容 (2)生態系に関する内容 (3)作物栽培の環境に関する内容 (4)飼育に関する基礎的内容 (5)模擬試験問題の実施	・作物の分類と特性について理解する。 ・作物の成長や繁殖のしくみについて理解する。 ・作付体系と作型を理解する。 ・動植物の生命活動や生物を構成する物質の循環について学習する。 ・栽培環境と管理作業の関係性について理解する。 ・家畜に関する基礎知識を学習する。 ・ニワトリや乳牛に関してその特性や飼育および繁殖方法について理解する。	○	○	○
		SDG's 番号９ 産業と技術革新の基盤をつくろう 農業に関連する資格取得の学習を通して，産業教育の役割や意義を理解し，実践的な態度を養う。				
2学期	12	３　課題解決学習への取組 (1)実践事例を学び，課題解決の方法を知る。 (2)プレゼンテーションソフトの使い方を学び，テーマに沿った発表を行う。	プレゼンテーションソフトを利用して農場の１年間の取組を発表し，提出する。	○	○	○
3学期	1 2 3	(3)総合学科学習発表会を見学し，地域農業の持つ諸課題を知る。次年度，自らが取り組むテーマを決めて，計画を立てる。 (4)農業クラブ「意見発表」について，基準やテーマに沿った文章作成に取り組む。	・発表会後にレポートを提出する。 ・次年度のテーマについて，検討する。 ・各自作成した意見発表作文を発表し提出する。	○	○	○

評価の観点　①知識・技能　②思考・判断・表現　③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
資格取得に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。 農業の意義や役割を理解し，プレゼンテーションに関する基礎的・基本的な技術を身に付け，発表にむけて合理的に計画し，その技術を適切に利用している。	農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を基に，農業に携わる者として適切にものごとを判断したり，感じたことを表現したりする能力を身に付けている。	農業に関する様々な課題について関心をもち，改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
【授業を受ける際の注意事項】 以下の項目を守り，しっかりとした態度で授業を受けましょう。 ・忘れ物のないよう事前に準備する。（ファイル，筆記用具，実習服） ・始業時刻は守る。 ・実習内容を理解できるよう積極的に参加する。 ・実験・実習においては，器械や器具の取扱に十分気を付け，使用後の整理整頓を必ず行う。 ・授業前の注意事項，特に安全面や衛生面についての説明はしっかりと聞いて，よく理解した上で行動する。不明な点があれば必ず質問すること。曖昧なままにしない。 ・提出物は期日厳守。 【評価の方法】 ・授業ごとのレポートも当然，評価の対象です。実習内容や注意点など欠かさず記入し，記録を取るという行動を習慣化できるよう努めましょう。 ・授業中の態度や出欠状況，提出物や課題の提出状況も重要な判断材料です。日々の取組を大事にしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
総合実習	［農業］

履修学科	総合学科
履修学年	第２学年
履修単位	２単位
教科書	なし
副教材	

科目目標

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

(2) 農業に関する総合的な課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び，農業の振興屋社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点 ①	評価の観点 ②	評価の観点 ③
1学期	4 5 6 7	・露地野菜及び施設野菜の栽培管理実習（春夏野菜） ・花苗，マンゴー，コーヒー苗の栽培管理実習 ・食品加工実習（５～７月） ・農業鑑定競技会への取組	・農場で栽培されている野菜の管理を通して，それぞれの作目の特性や管理方法について学習する。 ・農場で栽培されている花や果樹の管理を通して，それぞれの作物の特性や管理方法について学習する。 ・座学で学んだ衛生管理を実践しつつ，食品製造に関する知識・技術を身に付ける。 ・専門分野で扱われる機器・材料・生物などの名称や使い方などの知識を身に付ける。	○	○	○
2学期	9 10 11 12	・露地野菜及び施設野菜の栽培管理実習（秋冬野菜） ・花苗，マンゴーの栽培管理実習 ・畑かん営農講座（校外研修） ・ＵＡＶ（ドローン）実習 ・食品加工実習（10～12 月）	・農場で栽培されている野菜の管理を通して，それぞれの作目の特性や管理方法について学習する。 ・農場で栽培されている花や果樹の管理を通して，それぞれの作物の特性や管理方法について学習する。 ・島内のダムや農地の視察を通して畑かん技術について，その役割や農業との関わりについて学ぶ。 ・ＵＡＶの模擬飛行の見学及び飛行体験（実技）を行うことで，ＩＣＴ技術について学習する ・座学で学んだ衛生管理を実践しつつ，食品製造に関する知識・技術を身に付ける。	○	○	○
		SDG’s 番号2:飢餓をゼロに　9:産業と技術革新の基盤をつくろう　番号 12:つくる責任つかう責任 ・野菜や草花などが作られる過程について体験的な学習を行う。その活動の中で，持続可能な農業とはどのようなものか，必要なものは何かを考えさせる。 ・野菜や草花の栽培技術及び農業機械の使用方法・整備について学習し，産業教育の役割や意義を理解し，問題解決能力や実践的な態度を養う。 ・栽培実習や食品加工実習を通して生産者の目線でも学習を行うことで，食品の過剰生産や廃棄問題，エネルギー問題等について考察させる。			
3学期	1 2 3	・露地野菜及び施設野菜の栽培管理実習（秋冬野菜，春夏野菜） ・花苗，マンゴーの栽培管理実習 ・島内視察研修	・農場で栽培されている野菜の管理を通して，それぞれの作目の特性や管理方法について学習する。 ・農場で栽培されている花や果樹の管理を通して，それぞれの作物の特性や管理方法について学習する。 ・先進的な取組をしている農家・農業法人への視察を通してその経営方針や最新技術について学ぶ。	○	○	○

評価の観点　①知識・技能　②思考・判断・表現　③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取組むときに何を意識するべきか）		
俊樹・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
農業に関する様々な課題について関心を持ち，農業における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。	農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を基に，農業に携わる者として適切にものごとを判断し，感じたことを表現する能力を身に付けている。	農業の意義や役割を理解し，農業に関する基礎的・基本的な技術を身に付け，実験実習に関する諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に利用できている。また，作物を丁寧に扱い，安全に留意して道具等を使用している。

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

【授業を受ける際の注意事項】

以下の項目を守り，しっかりとした態度で授業を受けましょう。

・忘れ物のないよう事前に準備する。（ファイル，筆記用具，実習服）

・始業時刻は守る。

・実習内容を理解できるよう積極的に参加する。

・実験・実習においては，器械や器具の取扱に十分気を付け，使用後の整理整頓を必ず行う。

・授業前の注意事項，特に安全面や衛生面についての説明はしっかりと聞いて，よく理解した上で行動する。不明な点があれば必ず質問すること。曖昧なままにしない。

・提出物は期日厳守。

【評価の方法】

・授業ごとのレポートも当然，評価の対象です。実習内容や注意点など欠かさず記入し，記録を取るという行動を習慣化できるよう努めましょう。

・授業中の態度や出欠状況，提出物や課題の提出状況も重要な判断材料です。日々の取組を大事にしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
食品製造	［農業］

履修学科	総合学科
履修学年	第２学年
履修単位	２単位
教科書	食品製造（実教出版）
副教材	

科目目標

農業の見方・考え方を働かせ,実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通し て,食品製造に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 食品製造について体系的・系統的に理解するとともに,関連する技術を身に付 けるようにする。

(2) 食品製造に関する課題を発見し,農業や農業関連産業に携わる者として合理的 かつ創造的に解決する力を養う。

(3) 食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農 業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点 ①	評価の観点 ②	評価の観点 ③
1学期	4 5 6	第１章　食品製造の意義と動向 第２章　食品製造の基礎 第４章　食品加工と食品衛生	・食品製造を行う理由と現状を学習し，食品製造の重要性を理解する。 ・食品の種類や栄養など，食品加工に関する基礎的な事柄を学習し，食品の持つ性質や役割について理解する。 ・食品の安全を守るための食品衛生の重要性を理解する。 【豚みそ製造実習　５月，６月，７月】	○	○	○
	期末考査			○	○	
	7	第４章　食品加工と食品衛生 第３章　食品の変質と貯蔵	・食品衛生に関する法律をとおして，食品の安全を守る重要性を理解する。 ・食品が変質する原因を学習することで，食品の貯蔵法について理解する。			
2学期	9 10 11	第７章　畜産物の加工	・畜産物の加工特性を理解し，製造工程や技術を身に付ける。 【食品衛生責任者養成講習】 【豚みそ製造実習　10 月・12 月】	○	○	○
		SDG’s 番号2:飢餓をゼロに　番号9:産業と技術革新の基盤をつくろう　番号 12:つくる責任つかう責任 ・食品製造のもつ特性を理解することで，様々な食品を安定的かつ長期保存可能にして生産する知識を身に付ける。 ・農畜産物の加工技術や食品製造に係る機械について学習し，産業教育の役割や意義を理解し，問題解決能力や実践的な態度を養う。 ・食品加工実習を通して，生産者の目線でも学習を行うことで，食品の過剰生産や廃棄問題，エネルギー問題等について考察させる。				
	期末考査			○	○	
	12	第７章　畜産物の加工	・畜産物の加工特性を理解し，各種畜産加工品の製造原理と工程について，基礎的な知識と技術を身に付ける。			
3学期	1 2			○	○	○
	学年末考査			○	○	
	3			○		○

評価の観点　①知識・技能　②思考・判断・表現　③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取組むときに何を意識するべきか）		
関心・意欲・態度	**思考・判断・表現**	**主体的に学習に取り組む態度**
食品製造に関する諸課題について関心をもち，食品製造における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。	食品製造に関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を基に，農業に携わる者として適切にものごとを判断し，感じたことを表現する能力を身につけている。	食品製造の意義や役割を理解し，基礎的・基本的な技術を身につけ，食品製造に関する諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に利用している。また，食品を衛生的に扱い，安全に留意して道具等を使用している。

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

【授業を受ける際の注意事項】

以下の項目を守り，しっかりとした態度で授業を受けましょう。

・忘れ物のないよう事前に準備する。（教科書，ノート，ファイル，筆記用具）

・始業時刻は守る。

・授業の中で内容を理解するよう努める。

・実験・実習においては，器械や器具の取扱に十分気を付け，使用後の整理整頓を必ず行う。また，授業前の注意事項はしっかりと聞いて，よく理解した上で行動する。不明な点があれば必ず質問すること。曖昧なままにしない。

・提出物は期日厳守。

【評価の方法】

・定期考査の成績や単元ごとの確認テストだけでなく，教科書の音読や授業時の発表等も評価の対象とします。積極的に授業へ参加しましょう。

・授業中の態度や出欠状況，提出物や課題の提出状況も重要な判断材料です。日々の取組を大事にしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
地域資源活用	［農業］

履修学科	総合学科
履修学年	第２学年
履修単位	２単位
教科書	地域資源活用（実教）
副教材	

科目目標

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して,地域資源の活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　地域資源の活用について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

(2)　地域資源の活用に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3)　地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点 ①	評価の観点 ②	評価の観点 ③
1学期	4 5 6	第１章　地域資源活用とは ・地域資源とその活用 ・地域資源活用とプロジェクト学習 第2章　農山村社会の変化と地域振興 ・農山村と都市の現状と変化	・農山村振興における地域資源活用とは何かについて学習する。 ・時代の流れとともに，人類が余暇活動に求めるものが変化したことを知る。 ・地域資源が環境保全や文化・経済を高める活動であることを理解する。	○	○	○
	期末考査			○	○	
	7	・地域活性化に向けた施策・取組 第3章　地域資源活用の意義と役割 ・地域資源の魅力と価値	・農業の魅力や農村の自然や文化・料理などについて知識を高める。 ・農業や農村が持つ多面的な機能について理解を深める。	○	○	○
		SDG’s 番号 14：海の豊かさを守ろう　番号 15：陸の豊かさを守ろう 農村が持つ多面的機能についての学習を通して，中山間地域や農地が国土保全・森林保全の機能を果たしていることを理解する。また，森林の豊かさが海の豊かさに繋がっていることについても併せて理解する。				
2学期	9	・地域振興に向けた施策と取組	・地域振興に関する施策と取組について，農山村，都市，人づくりの観点で学習する。			
	中間考査			○	○	
	10	・異業種連携と商品価値の創造	・異業種連携とそれによる新たな価値の創造について学習する。	○	○	○
	11	・地域資源活用の実践と課題	・地域資源の活用の核となる人材や，補助的な役割を果たすインタープリンターについて学習する。			
		SDG’s 番号８：働きがいも経済成長も 地域資源の特徴とその活用についての学習をとおし，農山村における地域資源によるビジネスが経済と環境保全を高める活動であることを理解する。				
	期末考査			○	○	
	12	・情報の活用と発信	・インターネットなどを通じた地域情報の収集と発信，その活用方法について理解を深める。	○	○	○
3学期	1 2	第４章　地域資源の価値と活用 ・地域資源の見つけ方と活用	・地域資源の観光への活用を軸に，都市と農山村の交流，グリーン・ツーリズム，エコツーリズム，景観を生かしたツーリズム，農村での宿泊について理解する。			
	学年末考査			○	○	
	3	・観光への活用		○	○	○

評価の観点　①知識・技能　②思考・判断・表現　③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	**思考・判断・表現**	**主体的に学習に取り組む態度**
農村の持つ魅力や様々な課題について関心をもち，農山村における課題の改善や向上を目指して，地域資源の活用について，関連する技術を身に付けることができている。	地域資源の活用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を基に，農業に携わる者として適切にものごとを判断し，感じたことを表現する能力を身に付けている。	特に農山村における地域資源活用の意義や役割を理解し，新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

【授業を受ける際の注意事項】

以下の項目を守り，しっかりとした態度で授業を受けましょう。

・忘れ物のないよう事前に準備する。（ファイル，筆記用具，実習服）

・始業時刻は守る。

・実習内容を理解できるよう積極的に参加する。

・実験・実習においては，器械や器具の取扱に十分気を付け，使用後の整理整頓を必ず行う。

・授業前の注意事項，特に安全面や衛生面についての説明はしっかりと聞いて，よく理解した上で行動する。不明な点があれば必ず質問すること。曖昧なままにしない。

・提出物は期日厳守。

【評価の方法】

・授業ごとのレポートも当然，評価の対象です。実習内容や注意点など欠かさず記入し，記録を取るという行動を習慣化できるよう努めましょう。

・授業中の態度や出欠状況，提出物や課題の提出状況も重要な判断材料です。日々の取組を大事にしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
課題研究	［農業］

履修学科	総合学科
履修学年	第３学年
履修単位	４単位
教科書	
副教材	

科目目標

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して，社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。

(2)　農業に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。

(3)　課題を解決する力の向上を目指して自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1学期	4 5 6 7	・課題研究の進め方 ・課題の例示 ・事前指導 ・生徒の課題の設定 ・個人・グループの編成 ・学習計画の立案・実践 ・学習活動 ・成果のまとめ（中間）	・課題研究のねらいを生徒に理解させる。（農業の専門科目で学習したことを基本とする。） ・過去の事例を紹介し，課題研究に取り組む方法を認識させる。 ・調査や話し合いを通して課題を設定し，学習計画を立てる。 ・これまでの成果をまとめ，２学期からの活動に活かす。	○	○	○
2学期	9 10 11 12	・学習活動 ・成果のまとめ（最終）	・進捗状況をふまえて当初計画の見直しを行う。 ・課題解決に向けて主体的に実践する。 ・記録簿などを整理し，発表用データをパソコンで作成する。	○	○	○
		SDG’s 番号9:産業と技術革新の基盤をつくろう ・野菜や草花の栽培や食品製造，農業機械といった農業全般について学習した内容を活用し，産業教育の役割や意義を理解するとともに，自らが設定した課題の解決に向けた学習に取り組むことで，問題解決能力や実践的な態度を養う。			
3学期	1 2	・成果の報告・発表 ・学習の反省・評価	・課題研究発表会でプレゼンテーションソフトを使用して，取組の成果を発表する。 ・研究報告書を作成し，提出する。	○	○	○
	3					

評価の観点　①知識・技能　②思考・判断・表現　③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取組むときに何を意識するべきか）		
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
課題研究の意義や目的を理解し，課題を解決するために必要な技術を身に付け，課題研究を効率よく進める計画を立て，見通しをもって行動することができる。また，アンケート結果や教師のアドバイス等を踏まえたプレゼンテーションの作成や図表の制作ができる。	農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を基に，農業に携わる者として適切にものごとを判断し，感じたことを表現する能力を身に付けている。	農業に関する様々な課題について関心をもち，農業における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
【授業を受ける際の注意事項】 以下の項目を守り，しっかりとした態度で授業を受けましょう。 ・忘れ物のないよう事前に準備する。（ファイル，筆記用具，実習服） ・始業時刻は守る。 ・実習内容を理解できるよう積極的に参加する。 ・実験・実習においては，器械や器具の取扱に十分気を付け，使用後の整理整頓を必ず行う。 ・授業前の注意事項，特に安全面や衛生面についての説明はしっかりと聞いて，よく理解した上で行動する。不明な点があれば必ず質問すること。曖昧なままにしない。 ・提出物は期日厳守。 **【評価の方法】** ・授業ごとのレポートも当然，評価の対象です。実習内容や注意点など欠かさず記入し，記録を取るという行動を習慣化できるよう努めましょう。 ・授業中の態度や出欠状況，提出物や課題の提出状況も重要な判断材料です。日々の取組を大事にしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
総合実習（果樹・草花分野）	［農業］

履修学科	総合学科
履修学年	第３学年
履修単位	４単位
教科書	なし
副教材	

科目目標

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

(2) 農業に関する総合的な課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び，農業の振興屋社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点 ①	評価の観点 ②	評価の観点 ③
1学期	4	・春用花苗の植付および栽培管理 ・マンゴー栽培管理、収穫 ・農業鑑定競技大会への取組 ・食品加工実習（５～７月） ・農産物販売実習 ・刈り払い機実習	・花苗の播種や栽培管理を行う中で，品種ごとの特性や管理方法について学習する。 ・マンゴー栽培をとおして，果樹の特性や管理方法について学習する。 ・専門分野で扱われる機器・材料・生物などの名称や使い方などの知識を身に付ける。 ・座学で学んだ衛生管理を実践しつつ、食品製造に関する知識・技術の取得を身に付ける。 ・自ら育てた作物の販売に携わることで，大きな達成感を得るとともに，接遇面についても学習する。 ・刈り払い機の使い方を学習し，定期的に農場内の除草作業を行い，施設内を清潔に保つ。	○		○
	5			○		○
	6			○	○	○
	7			○	○	○
		SDG’s 番号3:すべての人に健康と福祉を　番号9:産業と技術革新の基盤をつくろう 番号12:つくる責任つかう責任 ・花が人々に安らぎや落ち着きを与えることを念頭に置き，日々の管理作業のなかで思いやりをもてる態度を養う。 ・農畜産物の加工技術や食品製造に係る機械について学習し，産業教育の役割や意義を理解し，問題解決能力や実践的な態度を養う。 ・栽培実習や食品加工実習を通して，生産者の目線でも学習を行うことで，食品の過剰生産や廃棄問題，エネルギー問題等について考察させる。				
2学期	9	・秋冬用花苗の植付および栽培管理 ・食品加工実習（10～12 月） ・農産物販売実習 ・マンゴーの栽培管理	・用土作りやよい床土の条件を学習し，学習した内容（播種・鉢上げ・鉢ずらしの方法や目的など）を応用する力を身に付ける。 ・座学で学んだ衛生管理を実践しつつ、食品製造に関する知識・技術を身に付ける。 ・自ら育てた作物の販売に携わることで，大きな達成感を得るとともに，接遇面についても学習する。 ・枝の剪定や吊り下げを行い、収穫期以外の栽培管理の重要性を学習する。	○	○	
	10			○	○	○
	11			○		○
	12			○	○	○
		SDG’s 番号 15:陸の豊かさを守ろう ・草花や果樹が自然環境にもたらす影響を学習し、農業が自然環境や地域環境を豊かにしていることを理解する。				

3学期	1	・冬春用花苗の植付および栽培管理 ・食品加工実習（１～２月） ・農産物販売実習	・花苗の播種や栽培管理を行う中で，品種ごとの特性や管理方法について学習する。 ・座学で学んだ衛生管理を実践しつつ、食品製造に関する知識・技術を身に付ける。 ・自ら育てた作物の販売に携わることで，大きな達成感を得るとともに，接遇面についても学習する。	○	○	○
	2			○	○	○
	3			○	○	○

評価の観点　①知識・技能　②思考・判断・表現　③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
農業の意義や役割を理解し，実験実習を通して農業に関する基礎的・基本的な技術を身に付け，諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に利用している。また，作物を丁寧に扱い，安全に留意して道具等を使用している。	農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を基に，農業に携わる者として適切にものごとを判断し，感じたことを表現する能力を身に付けている。	農業に関する様々な課題について関心をもち，農業における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

【授業を受ける際の注意事項】

以下の項目を守り，しっかりとした態度で授業を受けましょう。

・忘れ物のないよう事前に準備する。（ファイル，筆記用具，実習服）

・始業時刻は守る。

・実習内容を理解できるよう積極的に参加する。

・実験・実習においては，器械や器具の取扱に十分気を付け，使用後の整理整頓を必ず行う。

・授業前の注意事項，特に安全面や衛生面についての説明はしっかりと聞いて，よく理解した上で行動する。不明な点があれば必ず質問すること。曖昧なままにしない。

・提出物は期日厳守。

【評価の方法】

・授業ごとのレポートも当然，評価の対象です。実習内容や注意点など欠かさず記入し，記録を取るという行動を習慣化できるよう努めましょう。

・授業中の態度や出欠状況，提出物や課題の提出状況も重要な判断材料です。日々の取組を大事にしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
総合実習（野菜分野）	［農業］

履修学科	総合学科
履修学年	第３学年
履修単位	４単位
教科書	なし
副教材	

科目目標

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

(2)　農業に関する総合的な課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3)　農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点 ①	評価の観点 ②	評価の観点 ③
1学期	4 5 6 7	・露地野菜及び施設野菜の栽培管理実習（春夏野菜） ・農産物販売実習 ・食品加工実習（５～７月） ・農業鑑定競技会への取組	・農場で栽培されている野菜の管理を通して，それぞれの作目の特性や管理方法について学習する。 ・自らが手掛けた農産物を販売することで，大きな達成感を得るとともに，接遇面について学習する。 ・座学で学んだ衛生管理を実践しつつ，食品製造に関する知識・技術を身に付ける。 ・専門分野で扱われる機器・材料・生物などの名称や使い方などの知識を身に付ける。	○	○	○
2学期	9 10 11 12	・露地野菜及び施設野菜の栽培管理実習（秋冬野菜） ・農産物販売実習 ・ＵＡＶ（ドローン）実習 ・食品加工実習（10～12 月）	・農場で栽培されている野菜の管理を通して，それぞれの作目の特性や管理方法について学習する。 ・自らが手掛けた農産物を販売することで，大きな達成感を得るとともに，接遇面について学習する。 ・ＵＡＶの模擬飛行の見学及び飛行体験（実技）を行うことで，ＩＣＴ技術について学習する。 ・座学で学んだ衛生管理を実践しつつ，食品製造に関する知識・技術を身に付ける。	○	○	○
		SDG’s 番号2:飢餓をゼロに　9:産業と技術革新の基盤をつくろう　番号 12:つくる責任つかう責任 ・野菜や草花などが作られる過程について体験的な学習を行う。その活動の中で，持続可能な農業とはどのようなものか，必要なものは何かを考えさせる。 ・野菜や草花の栽培技術及び農業機械の使用方法・整備について学習し，産業教育の役割や意義を理解し，問題解決能力や実践的な態度を養う。 ・栽培実習や食品加工実習を通して，生産者の目線でも学習を行うことで，食品の過剰生産や廃棄問題，エネルギー問題等について考察させる。			
3学期	1 2 3	・露地野菜及び施設野菜の栽培管理実習（秋冬野菜） ・農産物販売実習	・農場で栽培されている野菜の管理を通して，それぞれの作目の特性や管理方法について学習する。 ・自らが手掛けた農産物を販売することで，大きな達成感を得るとともに，接遇面について学習する。	○	○	○

評価の観点　①知識・技能　②思考・判断・表現　③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
農業の意義や役割を理解し，実験実習を通して農業に関する基礎的・基本的な技術を身に付け，諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に利用している。また，作物を丁寧に扱い，安全に留意して道具等を使用している。	農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を基に，農業に携わる者として適切にものごとを判断し，感じたことを表現する能力を身に付けている。	農業に関する様々な課題について関心をもち，農業における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

【授業を受ける際の注意事項】

以下の項目を守り，しっかりとした態度で授業を受けましょう。

・忘れ物のないよう事前に準備する。（ファイル，筆記用具，実習服）

・始業時刻は守る。

・実習内容を理解できるよう積極的に参加する。

・実験・実習においては，器械や器具の取扱に十分気を付け，使用後の整理整頓を必ず行う。

・授業前の注意事項，特に安全面や衛生面についての説明はしっかりと聞いて，よく理解した上で行動する。不明な点があれば必ず質問すること。曖昧なままにしない。

・提出物は期日厳守。

【評価の方法】

・授業ごとのレポートも当然，評価の対象です。実習内容や注意点など欠かさず記入し，記録を取るという行動を習慣化できるよう努めましょう。

・授業中の態度や出欠状況，提出物や課題の提出状況も重要な判断材料です。日々の取組を大事にしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
農業機械	［農業］

履修学科	総合学科
履修学年	第３学年
履修単位	４単位
教科書	農業機械（実教）
副教材	

科目目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業機械の取り扱いと維持管理に必要な資質・能力を次のとおり育成すること。
を目指す。

(1)　農業機械について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
(2)　農業機械に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(3)　農業機械について特性を理解し、効率的な利用へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点 ①	評価の観点 ②	評価の観点 ③
1学期	4	第１章　農業機械の役割 ・農業機械化の意義 ・農業機械の利用とその現状	・農業機械の特徴を学習し，経営における機械の役割を理解する。 ・農業機械の種類を学習し，その発達過程や利用形態を理解する。	○	○	○
	5	第２章　原動機 ・原動機 ・内燃機関	・電動機の種類と構造を理解する。 ・内燃機関の種類と特徴を学習し，その原理と構造を分解・組立をとおして理解する。			
	6	第３章　トラクタ ・乗用トラクタ	・乗用トラクタの特徴を理解する。 ・実際に運転し，捜査上の安全性を学習する。			
	期末考査			○	○	
	7	第３章　トラクタ ・歩行用トラクタ	・歩行用トラクタを実際に扱うことで，安全な操作方法を身に付ける。	○	○	○
2学期	9	第４章　作業機 ・耕うん・整地用機械/育成・管理用機械 ・畑作用・調整用機械 ・飼料作用収穫・調整用機械 ・運搬用機械/環境調節用機械 第５章　農業機械と安全 ・農業機械の整備と保守 ・農作業による事故と健康被害	・各作業機の種類と特徴を学習し，適切な使用方法を理解する。 ・機械の整備が安全作業に重要であることを理解する。 ・農作業時における事故の原因を知ることで，その防止策を講じることができる。			
	10	第６章　農業生産と農業機械の利用 ・農業機械の効率的利用 ・農業機械化体系の作成	・作業能率や機械利用経費の計算方法を理解する。			
	11	SDG's 番号９ 産業と技術革新の基盤をつくろう 農業機械の役割とその種類及び構造や操作方法について，体験的な学習を取り入れながら進めることで，産業教育の役割や意義を理解し，問題解決能力や実践的な態度を養う。				
	期末考査			○	○	
	12	第７章　農業機械による自動化 ・作業工程の自動化 ・農業機械の高度化	・自動化の概要，仕組みを理解する。 ・農業用ロボット，スマート農業について理解する。	○	○	○
3学期	1					
	学年末考査			○	○	
	2					
	3					

評価の観点　①知識・技能　②思考・判断・表現　③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
農業機械の意義や役割を理解し，基礎的・基本的な技術を身に付け，農業機械を取り扱うための諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に利用している。また，安全に留意して作業服の着衣を行い，工具等を使用している。	農業機械に関する内容理解を目指して思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を基に，農業に携わる者として適切にものごとを判断し，感じたことを表現する能力を身に付けている。	農業機械の役割について関心をもち,農業における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
【授業を受ける際の注意事項】 以下の項目を守り，しっかりとした態度で授業を受けましょう。 ・忘れ物のないよう事前に準備する。（ファイル，筆記用具，実習服） ・始業時刻は守る。 ・実習内容を理解できるよう積極的に参加する。 ・実験・実習においては，器械や器具の取扱に十分気を付け，使用後の整理整頓を必ず行う。 ・授業前の注意事項，特に安全面や衛生面についての説明はしっかりと聞いて，よく理解した上で行動する。不明な点があれば必ず質問すること。曖昧なままにしない。 ・提出物は期日厳守。 【評価の方法】 ・授業ごとのレポートも当然，評価の対象です。実習内容や注意点など欠かさず記入し，記録を取るという行動を習慣化できるよう努めましょう。 ・授業中の態度や出欠状況，提出物や課題の提出状況も重要な判断材料です。日々の取組を大事にしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
食品製造	［農業］

履修学科	総合学科
履修学年	第３学年
履修単位	２単位
教科書	食品製造（実教出版）
副教材	

科目目標

農業の見方・考え方を働かせ,実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して,食品製造に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　食品製造について体系的・系統的に理解するとともに,関連する技術を身に付けるようにする。

(2)　食品製造に関する課題を発見し,農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3)　食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点 ①	評価の観点 ②	評価の観点 ③
1学期	4 5 6	第４章　食品加工と食品衛生 ・食品と食品衛生 ・食中毒 第５章　食品の包装と表示 ・食品の包装 ・加工食品の表示制度 第６章　農産物の加工 ・穀類の加工	・豚みそ製造実習前に衛生管理に関する内容の復習をする。 ・食品包装の目的と種類について学習し，その役割について理解する。 ・食品表示制度について，生産者の立場で学習することで制度そのものとその意義について理解を深める。 ・穀類の種類と特徴を知り，加工原理を理解する。	○	○	○
	期末考査			○	○	
	7	第６章　農産物の加工 ・豆類の加工 ・いも類，野菜類，果実類の加工	・大豆の特徴と加工原理について理解する。 ・いも類，野菜類及び果実類の特徴と加工原理について理解する。	○	○	○
2学期	9 10	第８章　発酵食品の製造 ・発酵食品の特徴と種類	・発酵食品の特徴を理解する。微生物の種類とその働きの重要性について学ぶ。			
	中間考査			○	○	
	11	SDG’s 番号9:産業と技術革新の基盤をつくろう　番号 12:つくる責任つかう責任 ・農畜産物の加工技術や食品製造に係る機械について学習し，産業教育の役割や意義を理解し，問題解決能力や実践的な態度を養う。 ・食品加工実習を通して，生産者の目線でも学習を行うことで，食品の過剰生産や廃棄問題，エネルギー問題等について考察させる。				
		第８章　発酵食品の製造 ・みそ，しょうゆの製造 ・酒類の製造 第９章　食品製造の実践と企業経営 ・食品製造における機械と装置の利用	・みそ，しょうゆの特徴と麹の性質と働きの重要性について理解する。 ・酒類の特徴とアルコール発酵の原理について理解する。 ・熱源，冷却，混合，攪拌の仕組みを理解する。	○	○	○
	期末考査			○	○	
	12	第９章　食品製造の実践と企業経営 ・品質管理 ・作業体系 ・食品製造の実践	・品質管理の意義，必要性について学習し，必要な施設や設備について理解する。 ・高品質な食品製造における要点を理解する。その上で国際的な動向を把握し，より良い作業方法を考える。	○	○	○
3学期	1					
	卒業考査			○	○	
	2					
	3					

評価の観点　①知識・技能　②思考・判断・表現　③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	**思考・判断・表現**	**主体的に学習に取り組む態度**
食品製造の意義や役割を理解し，基礎的・基本的な技術身に付け，諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に利用している。また，食品を衛生的に扱い，安全に留意して道具等を使用している。	食品製造に関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を基に，農業に携わる者として適切にものごとを判断し，感じたことを表現する能力を身に付けている。	食品製造に関する諸課題について関心をもち，食品製造における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

【授業を受ける際の注意事項】

以下の項目を守り，しっかりとした態度で授業を受けましょう。

・忘れ物のないよう事前に準備する。（ファイル，筆記用具，実習服）

・始業時刻は守る。

・実習内容を理解できるよう積極的に参加する。

・実験・実習においては，器械や器具の取扱に十分気を付け，使用後の整理整頓を必ず行う。

・授業前の注意事項，特に安全面や衛生面についての説明はしっかりと聞いて，よく理解した上で行動する。不明な点があれば必ず質問すること。曖昧なままにしない。

・提出物は期日厳守。

【評価の方法】

・授業ごとのレポートも当然，評価の対象です。実習内容や注意点など欠かさず記入し，記録を取るという行動を習慣化できるよう努めましょう。

・授業中の態度や出欠状況，提出物や課題の提出状況も重要な判断材料です。日々の取組を大事にしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
地域資源活用	［農業］

履修学科	総合学科
履修学年	第３学年
履修単位	２単位
教科書	地域資源活用（実教）
副教材	

科目目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通し て,地域資源の活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　地域資源の活用について体系的･系統的に理解するとともに、関連する技術を 身に付けるようにする。

(2)　地域資源の活用に関する課題を発見し,農業や農業関連産業に携わる者として 合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3)　地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の 振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点 ①	評価の観点 ②	評価の観点 ③
1学期	4	第４章　地域資源の価値と活用 ・商品開発への活用 ・サービス業への活用 ・教育，福祉への活用	・地域の資源を活用した商品開発の目的と流れを理解する。 ・直売所や農園のもたらす効果を学習し，都市住民と農村のつながりを理解する。 ・食農教育の目的や取組について学習し，福祉とのつながりを理解する。	○		○
	5			○	○	
	6			○		○
	期末考査			○	○	
	7	第５章　地域と連携した活動 ・地域資源のマーケティングとブランドづくり	・地域資源のマーケティングや地域ブランドの重要性が，地域に与える影響について学習する。	○	○	
2学期	9	・地域資源を活用したサービス	・地域ブランドの社会的評価について知るための，調査方法や利点，欠点について学習する。			
		SDG's 番号３：すべての人に健康と福祉を　番号１：住み続けられるまちづくりを 食農教育や福祉農園を通して，多くの人達に与える効果を理解し，地域資源の活用方法を模索させる。また，地域にある資源を活用することで，農村に住む人々の生活を豊かにするとともに，農山村の魅力を知ってもらうきっかけとなることを理解する。				
	中間考査					
	10	・農業のユニバーサルデザイン化 ・地域振興活動と評価	・ユニバーサルデザインを理解し，どのような導入方法が可能か，また，自分たちでも様々な案を考える。 ・地域振興活動の流れや評価方法について理解する。	○		○
	11			○	○	○
		SDG's 番号８：働きがいも経済成長も 地域資源の特徴とその活用についての学習をとおし，農山村における地域資源によるビジネスが経済と環境保全を高める活動であることを理解する。				
	期末考査			○	○	
	12	第６章　地域資源活用の実践 ・高校生による実践例 ・地域資源活用の企画と実践	・高校生が行った事例をもとに，どのような活動が可能かを模索する。 ・実際に自分たちでも企画の立案から実施まで行い，徳之島における地域資源の活用法について模索する。	○	○	○
3学期	1			○		○
	学年末考査			○	○	

	2					
	3					

評価の観点　①知識・技能　②思考・判断・表現　③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	**思考・判断・表現**	**主体的に学習に取り組む態度**
グリーンライフの意義や役割を理解し，基礎的・基本的な技術を身に付け，諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に利用している。	グリーンライフに関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を基に，農業に携わる者として適切にものごとを判断したり，感じたことを表現する能力を身に付けている。	農村の持つ魅力や様々な課題について関心をもち，農村における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

【授業を受ける際の注意事項】

以下の項目を守り，しっかりとした態度で授業を受けましょう。

・忘れ物のないよう事前に準備する。（ファイル，筆記用具，実習服）

・始業時刻は守る。

・実習内容を理解できるよう積極的に参加する。

・実験・実習においては，器械や器具の取扱に十分気を付け，使用後の整理整頓を必ず行う。

・授業前の注意事項，特に安全面や衛生面についての説明はしっかりと聞いて，よく理解した上で行動する。不明な点があれば必ず質問すること。曖昧なままにしない。

・提出物は期日厳守。

【評価の方法】

・授業ごとのレポートも当然，評価の対象です。実習内容や注意点など欠かさず記入し，記録を取るという行動を習慣化できるよう努めましょう。

・授業中の態度や出欠状況，提出物や課題の提出状況も重要な判断材料です。日々の取組を大事にしましょう。